

会 議 名	第 19 回 港区景観審議会
開 催 日 時	平成 30 年 3 月 19 日(月曜日) 午後 4 時 30 分から午後 6 時 00 分まで
開 催 場 所	区役所 9 階 915 会議室
委 員	(出席者) 大倉 富美雄 委員 齋藤 潮 委員 杉山 朗子 委員 沼田 麻美子 委員 山崎 誠子 委員 岡元 隆治 委員 小倉 敬子 委員 須佐 直人 委員 (欠席者) 倉田 直道 委員 渡邊 大志 委員
	(臨時委員：港区景観アドバイザー) 藤野 珠枝 氏 吉田 慎悟 氏 蓮池 ゆう子 氏
事 務 局	街づくり支援部長、街づくり事業担当部長、都市計画課長、開発指導課長、街づくり計画担当係長・係員、景観指導係長・係員
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議事 (1) 審議事項 ・第 2 回区民景観セレクションの公募結果と予備選定の方向性について 3 閉会
配 付 資 料	資料 1 第 2 回区民景観セレクション公募結果の概要 資料 2 全応募景観の詳細 資料 3 予備選定の方向性と今後のスケジュール 資料 4 最終選定までのイメージ 参考資料 1 第 2 回区民景観セレクション応募案内 参考資料 2 港区景観表彰実施要綱

会議の結果及び主要な発言

2 議事

(1) 第2回区民景観セレクションの公募結果と予備選定の方向性について

(事務局から説明)

(説明)

事務局

A委員

資料2の番号は、テーマごとの並びとなっているか。

事務局

場所が近いものを集めた方が見返しがなくなること、全件横並びで選ぶという趣旨を踏まえて、テーマごとの並びにはしていない。

会長

テーマは応募者が選んでおり、勘違いなどで、実際に選ばれた景観とテーマが合っていないこともあるので、そこは今後調整したい。テーマは関係なく、景観がよければ選んでいくという対応で評価を進めたいという事務局の案だと考える。

A委員

テーマにとらわれず景観で選べということだが、景観の選定については、例えばお寺を選ぶのと港の景観を選ぶのは全然違う。いろいろなばらつきを承知で選ぶという認識が合っていないと、どこに力点を置いて選んでいいかわからない。港区らしい景観の広がりがあるということを確認しておく必要があるのでは。

事務局

ご指摘のとおり、港区の地域特性は多々あり、景観もいろいろな種類がある中で、同じ切り口でどう評価するかは非常に難しい。区としては、景観50選を、要綱の3つの基準をもとにまとめていく中で、ある程度個人差が生じて、そこは皆様の感覚で選んでいただく以上やむを得ないのではないかと考えている。

B委員

特定の店舗が出てきているが、宣伝のようになると思われる。

会長

特定の店舗のPRにつながりかねないという懸念だが、街並みや雰囲気がいいと選ばれたとしても、写真をどう掲載するかについて工夫することで対応できるのか。

事務局

第1回の選定においても、委員の方からは、立派な街並みでなくても、街角のちょっとおしゃれなお店を選んでいてもいいのではないかとのご意見もあった。そういう意味では、街角の景観に寄与している店舗についても、セレクションでもし評価が高ければ、選ぶことも可能性としてはあると考えている。

C委員

回数を重ねるにつれ、多少違う方向から撮った写真が何回も応募されることは避

	<p>ける必要があり、結果として違うものが50選ばれるようにしてほしい。</p> <p>複数の応募があっても景観としては一体をなしていると思われるものは、前回までで一体の景観として選ばれていますというふうに考えて、分けていく必要がある。それは、応募する側にも示されている必要があると思うので、何かもう少しわかる方法で示していかないといけないと思う。</p>
<u>事務局</u>	<p>予備選定をお願いするに当たり、この場所は去年選ばれた場所、もしくはその場所とほぼ一体ではないかというものは情報としてはっきり書いた上で皆様をお願いしたいと思う。</p>
<u>C委員</u>	<p>幾つかの応募は、やめてしまうのは惜しいけど、かといって新たに選ぶものか悩ましいものがある。東京タワーのピクチャースポットや、季節柄の桜の応募については、花みたいなもので別の分け方を考えた方がいいのではないかと。違うカテゴリーで入れるものは違うカテゴリーで分類しないと、景観や風景はなかなか捉えにくいというのが私の感想である。</p>
<u>D委員</u>	<p>写真はなく、文章だけの応募もあるのか。その場合、区の考えた解釈での写真ではないか。</p>
<u>事務局</u>	<p>応募理由、視点場をもとに、区で、こういった景観を推しているのではないかと。いうことを推測し、その周辺がわかる写真を掲載している。極力、応募者の方の応募理由を読み取っていただければと考える。</p>
<u>D委員</u>	<p>写真がある応募とない応募の比率はどの程度か。</p>
<u>事務局</u>	<p>今回、写真がないものが3割程度、写真があったものが7割程度応募があった。</p>
<u>E委員</u>	<p>区の方が撮られた写真のほうが良いといった場合には、応募者の方の写真じゃなくて、こちらの写真で推すことはできるのか。</p>
<u>事務局</u>	<p>応募いただいた写真をもって公表するとは限らないこととはっており、可能である。審査も、写真で審査するのではなくて、応募いただいた場所、その場所の景観がいかどうかで審査していただきたいので、そういう意味で区が複数写真を撮って記載している。</p>
<u>F臨時委員</u>	<p>応募テーマも視点場もポイントも詳細も、応募者が書いているため、審査される方は、応募者が応募した情報を全部読んで、かつ区の情報に加味しておくということが大事なのではないか。</p>

<u>C委員</u>	タイトル自体がどこの何なのかをもう少しはっきりさせたほうが、将来的に被らないのではないか。
<u>事務局</u>	第1回のセレクションのときも、応募者の方が書いた視点場、タイトルを採用すべきかどうかという議論が非常にあった。区として周知、公表して知らしめていく上では、必ずしも応募いただいたタイトルではなくて、その場所、景観をきちっと正しく伝える、最も適切に表現したタイトルで公表していくことのほうが望ましいのではないかと考えている。
<u>会長</u>	応募者の応募内容をよく見るが、公表する段階においては、場合によっては内容を書きかえたりすることがあるという趣旨で理解した。
<u>D委員</u>	応募の中には部門が違ふと思われるものがある。評価するときにも、自分としては、応募テーマは変だけれども、この文章がいいという選び方をすればいいのか。
<u>会長</u>	テーマはとりあえず外しておいて、ポイントと中身をよく見ていただき、この景観はいいということであれば丸をつけていただきたい。応募者がどんなことを意図して送ってきたのかをよく読んで判断する必要がある。写真はなくてもいいということで応募いただいているので、まず推薦理由の詳細について検討いただくことがいいのではないかと。
<u>D委員</u>	審査結果としてテーマが偏った場合の調整はどうするか。
<u>事務局</u>	基本的な考え方は、やはりテーマは意識せずに、選びたいものを選んでいただきたい。件数もテーマごとに一定のばらつきがあるので、そこまで偏ることはないのではないかと考えている。ただ、それにもかかわらず、偏りそうな場合は、個々人のご判断の中で多少調整していただいたほうがありがたいと考えている。
<u>会長</u>	必ずしもこのテーマと応募した内容が合っていないので、額面上のテーマにとらわれずに、まず選んでいただくということでいいのではないかと。
<u>A委員</u>	地図の赤い星マークは、ピンポイント的な赤印しかつけてないということもあるのではないかと。審議を深めた中で、例えばもう少し長い距離を評価の対象にするかということを委員会で決めていけばいいのではないかと。
<u>事務局</u>	おっしゃるとおり、実際、審査を進め現地を見たりする中で、議論を深められればと思う。

<u>A委員</u>	写真はあまり信用してはいけないのかもしれない。写真がなくてもいいという話であり、地域をよく見て知っている人がこれでいいと思って選定することが重要なかもしれない。
<u>H臨時委員</u>	今の時点でこういう景色だけれども、5年後ぐらいにまとめたときに変わっている可能性もある。逆に、選ばれると少し早めに整備することはあるか。
<u>事務局</u>	現時点で、選んだものについて、区で積極的に優先して整備していこうということまでは考えていない。ただ、セクションとして選んで公表していくと、当然、区民の方々に周知が広まる中で、そういう地域の声が出やすくなっていくことはあるのではないかと考えている。
<u>H臨時委員</u>	5つのテーマで、最終的には5つのテーマが大体は10ぐらいずつになるように選んでいくということであったが、最後は足りないところを埋めなければいけないため、大変ではないか。
<u>C委員</u>	カテゴリーを統合するなどを検討してはどうか。今の時点で5つのカテゴリーで10個ずつというのは、間尺に合わないなと個人的には思う。
<u>会長</u>	テーマで分けてないと応募者が混乱するからという意味でテーマは区切ったが、50選ということで編集するときには、テーマは外してしまって、景観として並べてもいい。
<u>C委員</u>	また、その他でも、内容によっては何か違う区別を考えた方がいいと思う。さらに言うと、応募したテーマが非常に長い文章だが、募集例のところに短いのがあって、通り、自然・地形とか、短いほうがわかりやすい。長い方は前後にいろんなことが書いてあるけど、よくわからないので、クリアにやったほうが、応募するほうもやりやすいと思う。
<u>A委員</u>	景観というのは言葉ではない。景観そのものは、そこにある場である。それを言葉である程度、プレセレクトしていくということが今後、行われるから、何回か重ねていくうちに、港区が日本を代表して景観とはこういうものだということを文章化できる、すばらしい結果が出るかもしれないと思う。
<u>会長</u>	今後解説を書くときに、精度が高まっていくのではないか。
<u>F臨時委員</u>	最初に意見のあったお店の宣伝になることだが、お店が対象となる街並景観の応

	<p>募があってもいいと思う。ただ、今後、応募のときに、関係者であるとか、何か備考を入れたほうがいいかとも思う。知られていないものを示していただくにもたくさん応募していただくのは大事だと思うが、関係者かどうかを入れることは検討してはどうか。</p>
<u>事務局</u>	<p>関係者というのは自薦なのか、他薦なのかという趣旨かと思うが、そこを必ず書かせることは難しいと考えている。</p>
<u>I 臨時委員</u>	<p>一時の行事を景観としているものがあるが、ちょっと心に引っかかる。やっていること自体はすごくいいと思うが、景観かというのが若干引っかかるなと思う。</p>
<u>会長</u>	<p>これは、こういうことが行われている場所周辺の景観が選ばれていると解釈すれば選択のしようがある。その辺も考慮いただいて、一時の行事としてこれがおもしろいと応募者が考えたとしても、この場を選択する余地はあるのではないかと思う。</p>
<u>D 委員</u>	<p>文化的景観でお祭りだとか、生活の景観、文化的な景観みたいなものもあるのではないか。港区というとモダンで都会的という中で、そういった景観を面白いものとしてわざわざご応募いただいたのかと感想は持った。</p>
<u>事務局</u>	<p>今後は、今日いただいたご意見を踏まえた評価シートを作成して、お送りできればと考えている。</p>
	<p>3 閉会</p>
<u>事務局</u>	<p>次回については、開催が決まり次第、日程調整等のご連絡をさせていただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>
	<p>閉会</p>